



子どもを犯罪から守るための 多機関連携モデルの提唱



子どもが非行にはいたり、犯罪に巻きこまれることを防止するには



北九州市では、組織をまたいだ人事交流が盛んな上、
3機関が同じビル・フロアで顔の見える連携を実施。

北九州市の場合



いくつかの地域の事例に基づいて、適正かつ有効な連携のあり方を提案していきます。

連携・対応事例の収集

法的な側面からの検討

